

# 岩手県感染症月報

平成13年12月

岩手県結核・感染症情報センター

## 平成13年12月の概要

### 性感染症

性器クラミジア感染症、尖型コンジローム感染症、淋菌感染症は、12月には増加の傾向にあります。特に女性の性器クラミジアの感染者は全国レベルを大きく上回っており、過去3年間のワースト記録となりました。

### 薬剤耐性菌感染症

前月まで3ヶ月間増加していた薬剤耐性緑膿菌感染症は、12月になり減少に転じました。

## 性感染症・薬剤耐性感染症（過去5ヶ月間の動き）

（総数）

（定点当たり患者数）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		8	9	10	11	12		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	1.23	4.62	6.54	6.23	7.31	↗
	全国	3.99	4.02	4.43	3.72	3.51	↘	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.15	0.92	1.54	0.54	0.46	↘
	全国	0.9	0.77	0.98	0.84	0.84	→	
性感染症	尖型コンジローム	岩手県	0.15	0.77	0.77	0.46	0.77	↗
	全国	0.46	0.48	0.56	0.47	0.44	↘	
	淋菌感染症	岩手県	0.23	1.46	2	1.31	1.77	↗
	全国	2.22	2.13	2.17	1.85	1.94	↘	
薬剤耐性菌感染症	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	岩手県	0.6	1.6	3.1	2.85	2.65	→
	全国	3.6	3.22	3.46	3.46	3.33	↘	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	岩手県	0	0	0	0.3	0.4	↗
	全国	0.6	0.44	0.67	0.9	1.2	↗	
薬剤耐性緑膿菌感染症	岩手県	0	0.15	0.25	0.5	0.4	↘	
全国	0.17	0.14	0.14	0.12	0.12	↘		

（男性）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		8	9	10	11	12		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	0.23	1.92	2.23	2	1.69	↘
	全国	1.75	1.77	1.88	1.6	1.5	↘	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0	0.46	0.62	0.08	0.08	→
	全国	0.38	0.35	0.42	0.33	0.39	→	
性感染症	尖型コンジローム	岩手県	0.08	0.38	0.23	0	0.31	↗
	全国	0.26	0.28	0.3	0.26	0.22	↘	
	淋菌感染症	岩手県	0.15	1.08	1.54	1	1.31	↗
	全国	1.87	1.76	1.75	1.51	1.62	↘	

（女性）

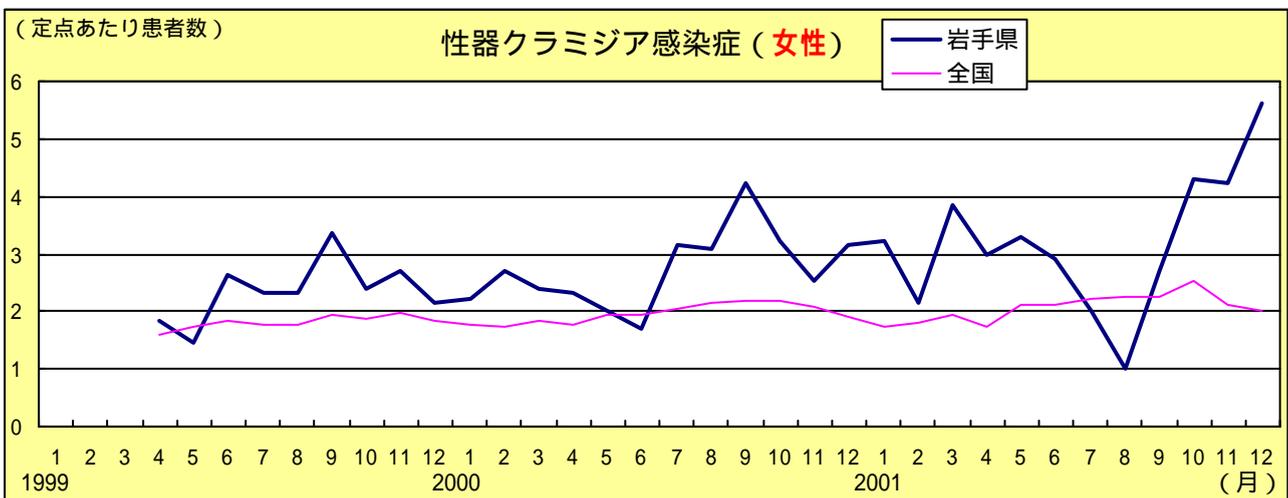
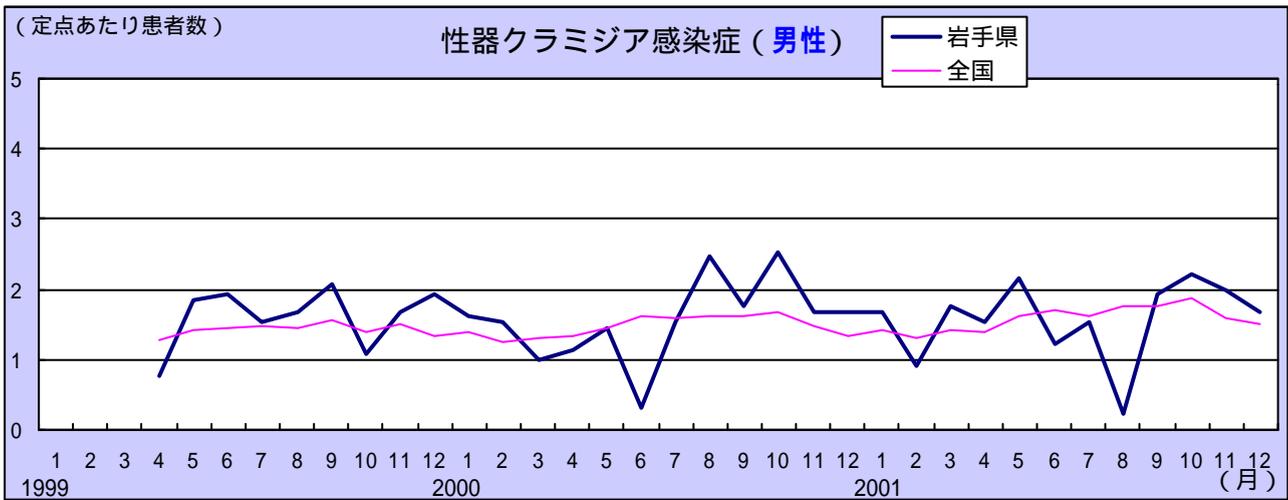
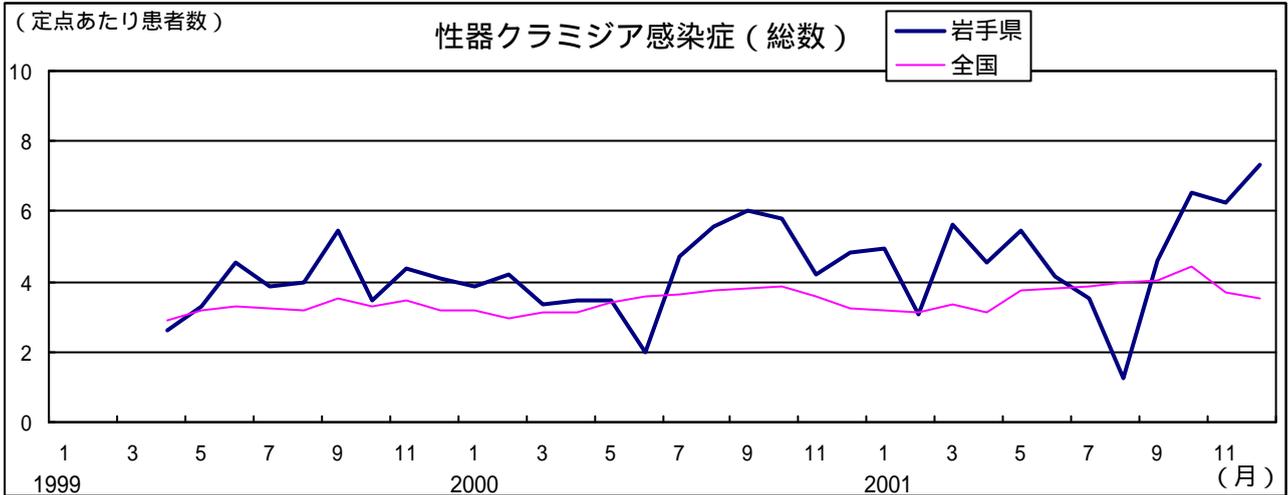
疾病名	地域	月					流行傾向	
		8	9	10	11	12		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	1	2.69	4.31	4.23	5.62	↗
	全国	2.25	2.25	2.54	2.11	2	↘	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.15	0.46	0.92	0.46	0.38	↘
	全国	0.52	0.42	0.56	0.5	0.44	↘	
性感染症	尖型コンジローム	岩手県	0.08	0.38	0.54	0.46	0.46	→
	全国	0.21	0.2	0.26	0.21	0.22	→	
	淋菌感染症	岩手県	0.08	0.38	0.46	0.31	0.46	↗
	全国	0.35	0.37	0.43	0.34	0.33	↘	

**性器クラミジア感染症**

12月になり、男性の患者数は減少しましたが、女性の感染者は前月より大幅に増加し、全国レベルを大きく上回っています。特に、10代と20代の女性が患者全体の70%を占めており、ここ数年では患者数は確実に増えています。

感染すると、男性では尿道炎、女性では子宮頸管炎、骨盤内炎、不妊などを起こします。

女性では感染しても自覚症状に乏しいため診断治療に至らないことが多く、無意識のうちに男性パートナーや出産児へ感染させることもあるので注意が必要です。

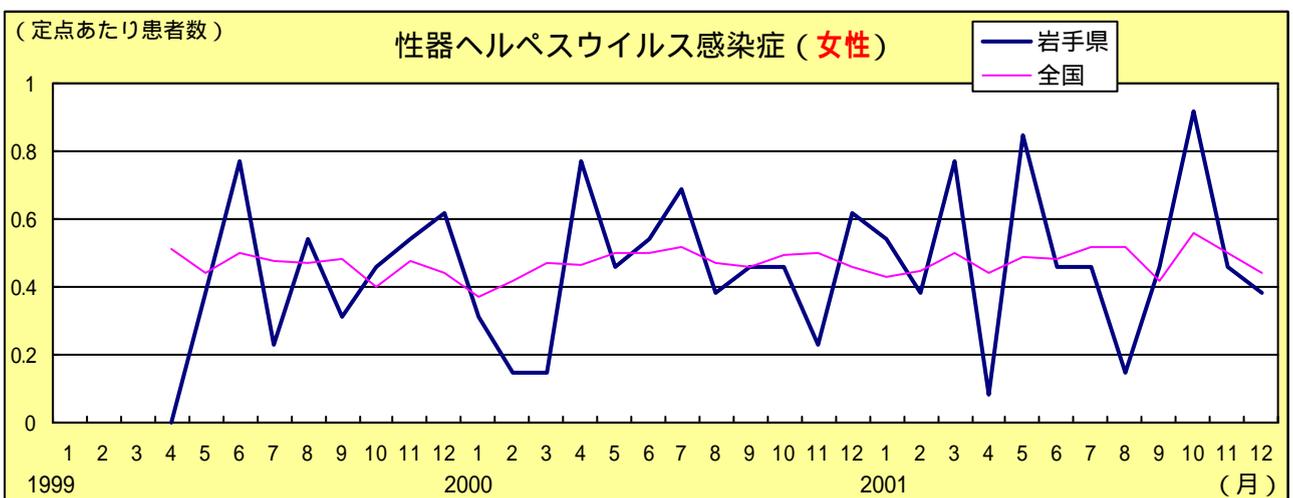
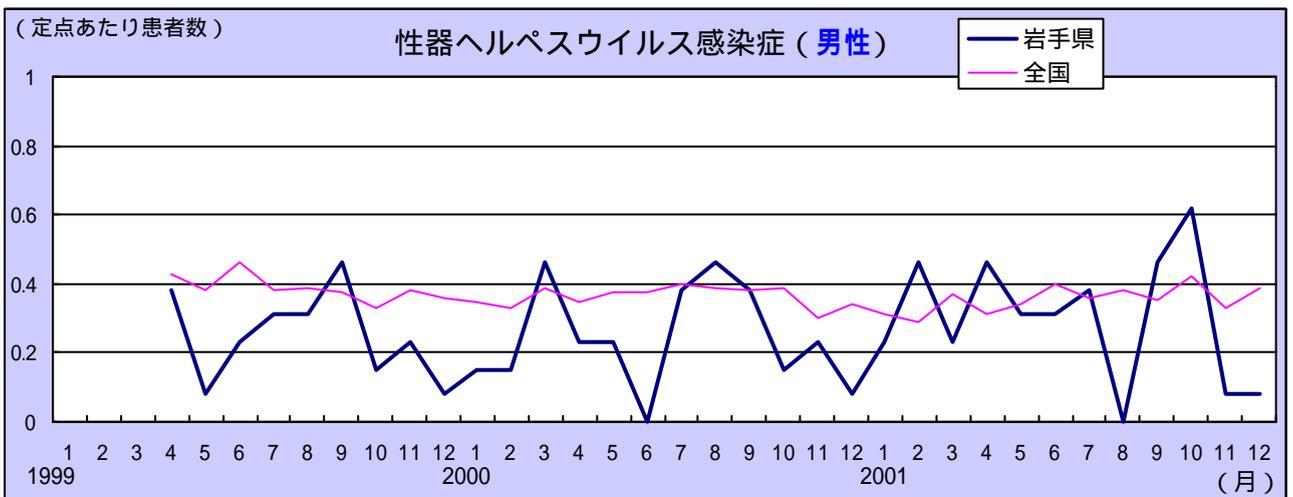
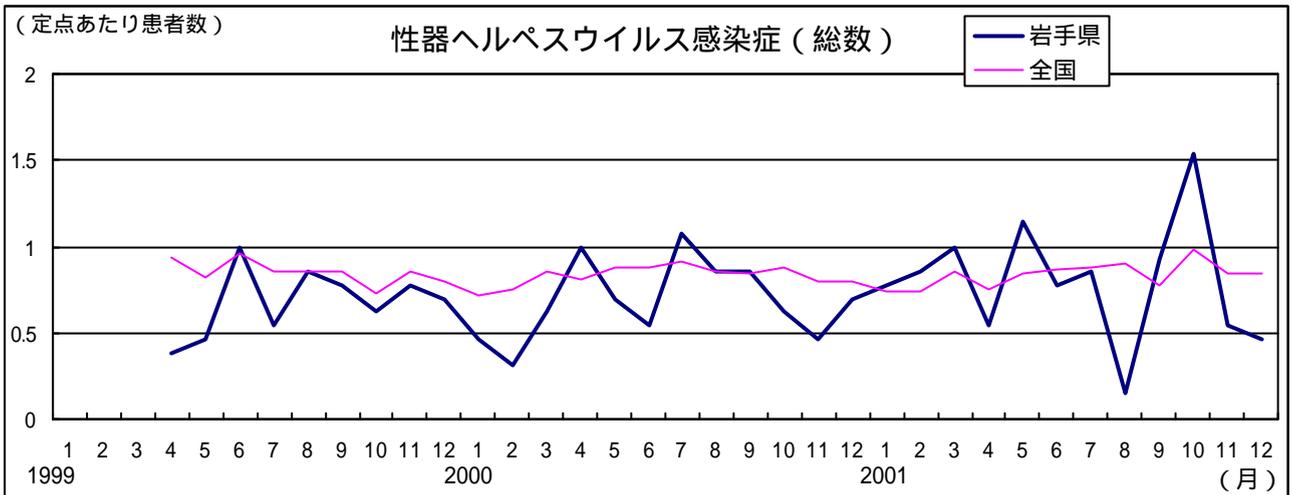


**性器ヘルペスウイルス感染症**

ここ2ヶ月間患者報告数が減少しています。

性器ヘルペスウイルス感染症は性器やその周辺に水疱や潰瘍を引き起こす疾患で、一度感染すると再発を繰り返します。感染しても無症状でウイルスを排出している場合も多く、知らずに次ぎの相手に移してしまうことがあります。

また、口唇ヘルペスの症状があるパートナーから口唇性交によって感染することも少なくありません。

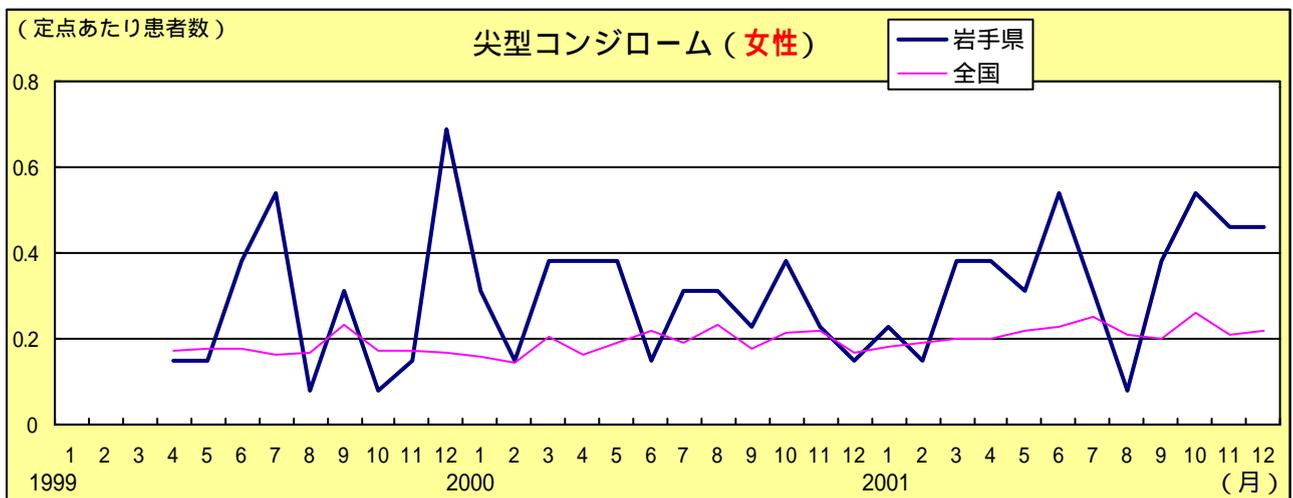
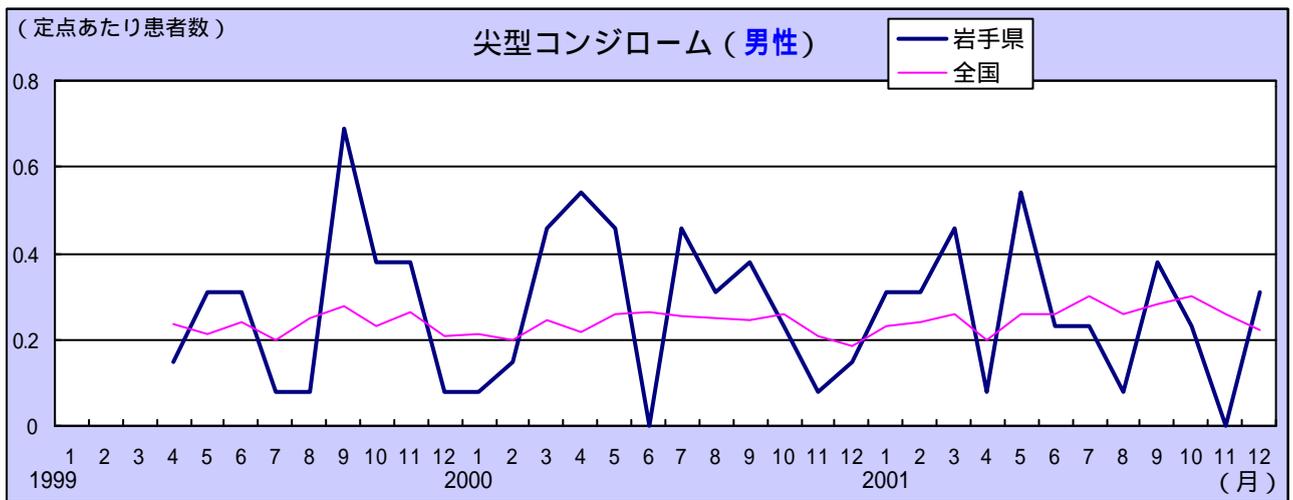
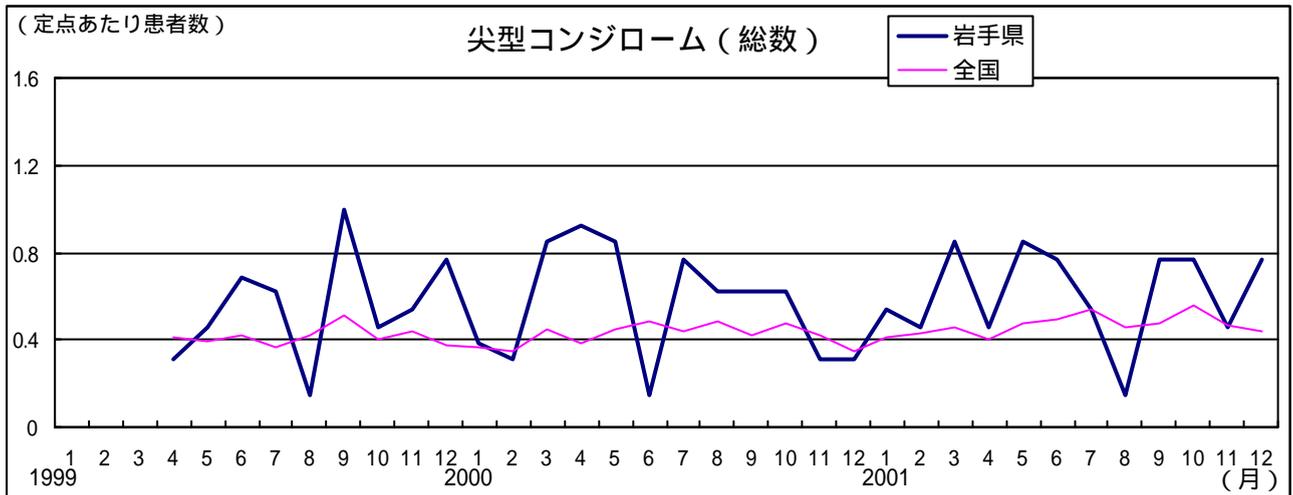


**尖型コンジローム**

12月になり、男性の患者数が増加しました。

尖型コンジロームは性器やその周辺の表面がとげとげしく角化した隆起性病変（淡紅色～褐色の乳頭状、鶏冠状、カリフラワー状）が特徴です。

感染したウイルスの型によっては子宮頸癌の原因となることもあるので注意が必要です。

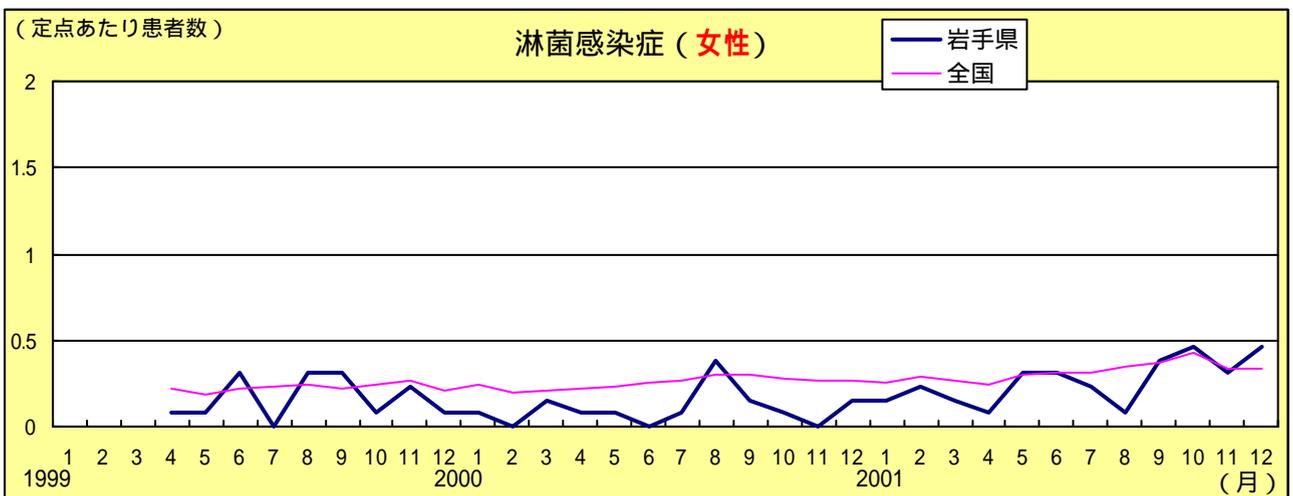
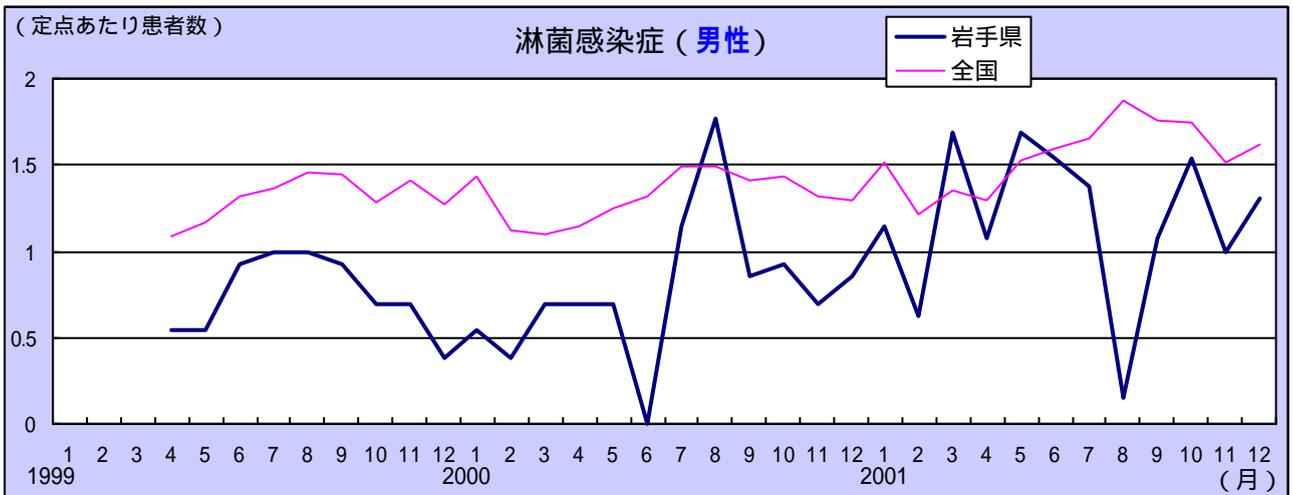
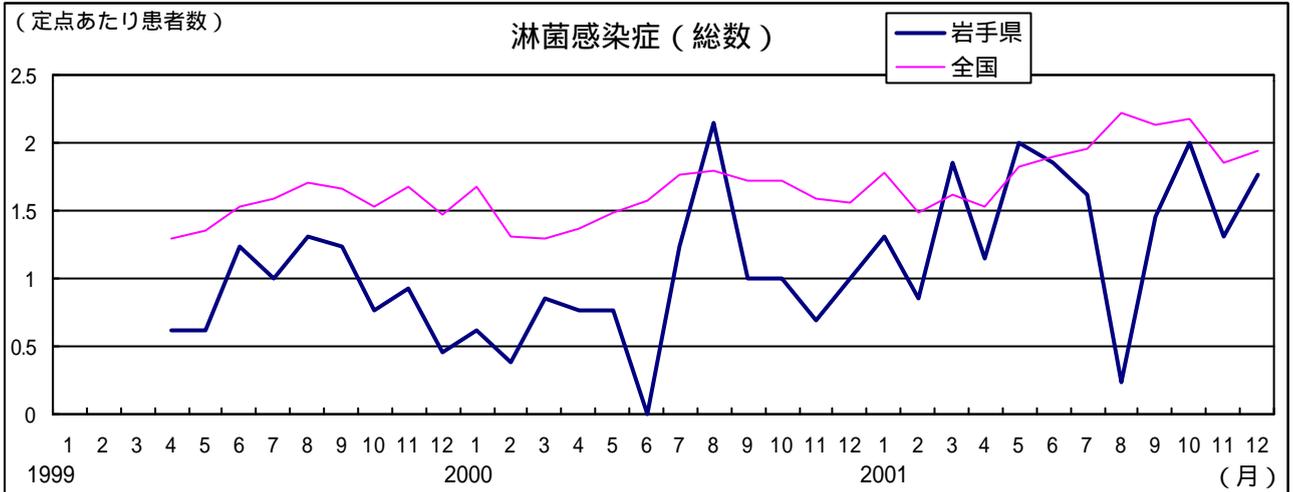


**淋菌感染症**

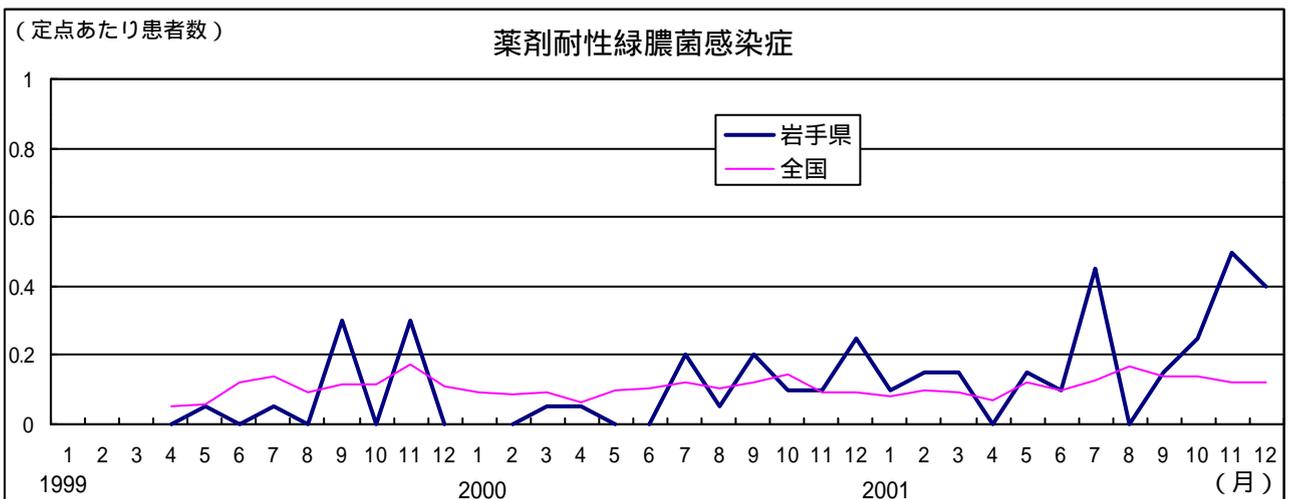
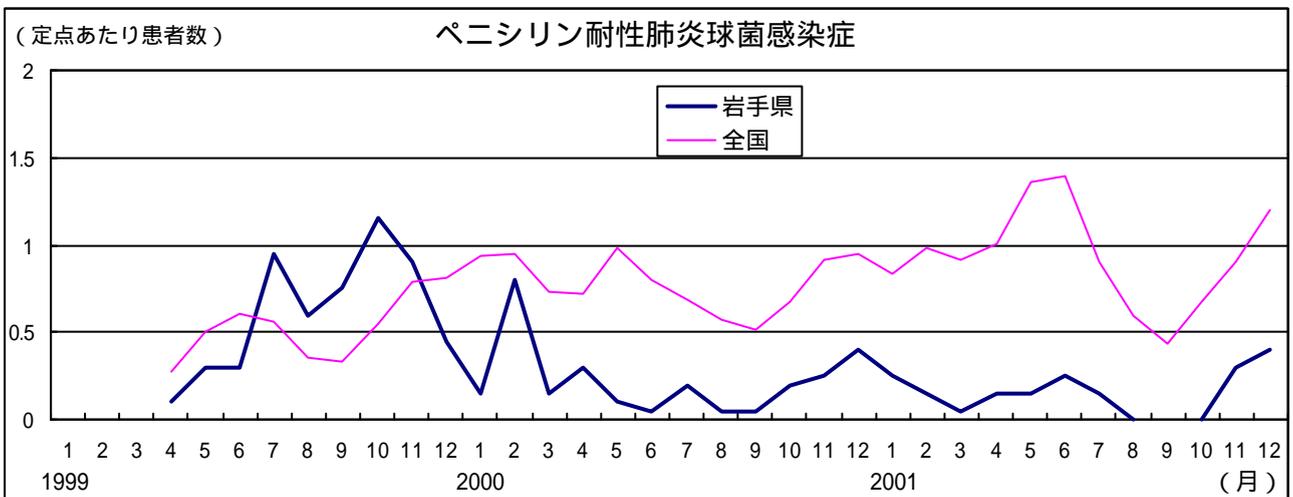
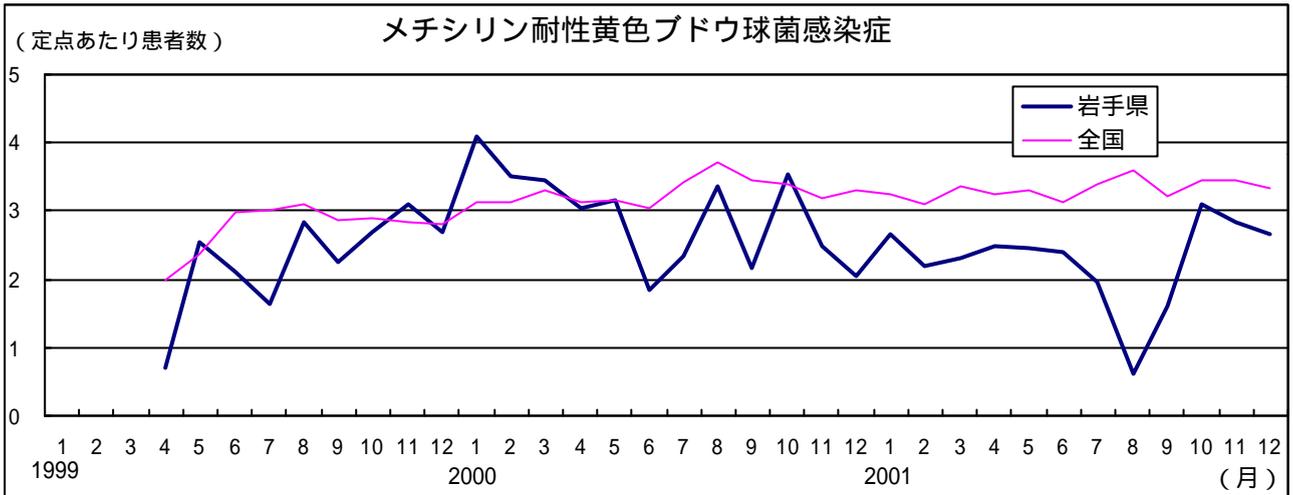
ここ12月になり、患者報告数がわずかに増加しました。ここ数年、県内でも全国的にも感染者数は増加しています。

全国では、1985年以降のエイズ啓発活動により患者数は減少していましたが、1998年4月以降連続して増加傾向にあります。

女性の報告数が男性より極端に少ないのは、女性は自覚症状に乏しく、受診の機会が少ないことが要因の一つと考えられます。



**薬剤耐性菌感染症**



## 病原体検出情報

7月から12月までに岩手県内の病原体定点から送付された検体から検出された病原体は下表のとおりです。

10月には、大船渡地区で上気道炎患者からアデノウイルス3型が8株検出されました。

10月から12月にかけて感染性胃腸炎の患者からいわゆる小型球形ウイルス（SRSV）の一種であるサッポロ様ウイルスとノーウォーク様ウイルスがそれぞれ11株と19株検出されました。感染症発生動向調査によると、この時期、感染性胃腸炎は流行のピークを迎えており、これらのウイルスは感染性胃腸炎の重要な病原であるといえます。

例年、冬季に流行するインフルエンザについては、この時期、ウイルスは検出されていません。

### 月別病原体検出状況

検出病原体	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
アデノウイルス 2型					1		1
アデノウイルス 3型				8			8
アデノウイルス40/41型	1				1	1	3
エコーウイルス 9型		1					1
コクサッキー B 群ウイルス 5型					1	1	2
サッポロ様ウイルス				1	8	2	11
ノーウォーク様ウイルス 遺伝子型 II					2	17	19
ロタウイルス A群					1		1
総計	1	1	0	9	14	21	46

### 疾病別病原体検出状況

疾病名	検出病原体	検出数
感染性胃腸炎	アデノウイルス 2型	1
	アデノウイルス40/41型	3
	コクサッキー B 群ウイルス 5型	2
	サッポロ様ウイルス	11
	ノーウォーク様ウイルス 遺伝子型 II	19
	ロタウイルス A群	1
インフルエンザ	アデノウイルス 3型	5
上気道炎	アデノウイルス 3型	3
無菌性髄膜炎	エコーウイルス 9型	1

岩手県感染症月報 平成13年12月

平成14年1月16日発行

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www.pref.iwate.jp/~1353/kansen/